

横浜 たまプラーザ駅北側地区の次世代郊外まちづくり ～ニュータウン開発のその後①



■主催： 日本建築学会関東支部都市計画専門研究委員会、横浜市建築局

■趣旨： 開発から約60年が経過した当地区において、様々な都市問題解決のために、このほど横浜市などにより策定された「次世代郊外まちづくり基本構想2013」を理解し、また集合住宅地区の変化の様子や戸建て住宅地区において取組まれた近年の住民参加の成果等を見学する。

■日時： 平成26年3月9日（日）午前10時00分～午後15時30分

■集合時間・場所： 午前10時00分に「横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ・多目的ホール」集合（横浜市青葉区新石川二丁目 1-15 たまプラーザテラス リンクプラザ4階）

■主な見学場所：

- ①たまプラーザ駅周辺： マンションなどへの建て替えが進む旧社宅エリア、URたまプラーザ団地などの集合住宅地区。
- ②中部地区： クルドサックを採用した戸建て住宅地。自治会が地区計画と連動した街並みガイドラインの運営をエリアマネジメントとして行ない、良好な景観を維持している。
- ③第六公園集会所： 西部地区の自治会がコミュニティー活動を通じて、市の助成制度を活用しながら企画・設計に携わって建設した集会所。



■行程：

10:00 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ・多目的ホール 集合・受付—
10:15 趣旨説明： 稲見成能（前橋工科大学）—10:25 レクチャー①「次世代郊外まちづくり構想2013」秋元康幸（横浜市）—11:15 レクチャー②「美しが丘3・4丁目のまちづくり」天野克也（東京都市大学）—11:55 昼休み（各自で昼食・休憩）—
13:00 たまプラーザ駅中央口改札前 再集合・徒歩見学開始—13:00 見学「旧社宅エリア」「URたまプラーザ団地」「中部地区戸建て住宅地」「西部地区・第六公園集会所」等—15:30 見学終了・解散



■案内人： 都市計画専門研究委員会委員、横浜市職員、地元住民を予定

■定員： 30名（申込先着順）

■参加費（当日徴収）： 500円

■申込方法：

申込みは下記のURLから↓（平成26年3月7日（金）締切り）

https://www.aij.or.jp/index/?se=eventlist&ac=action&button_kind=3&button_id=736

